

萬鐵五郎《山村の春》（『中学世界』第二卷第五号口絵）

「作品情報」

萬鐵五郎《山村の春》

『中学世界』第二卷第五号（博文館、一九一九年四月一日）

三二・五×二二・三センチメートル

「解説」

この口絵は、江渡憲夫「萬鐵五郎の大正期の雑誌挿画」（『岩手県立博物館研究報告』第一八号、二〇〇一年二月二〇日、九三―一二〇頁、論文の表題は目次では「萬鐵五郎の大正時代の雑誌挿画」になっている）においては紹介されていないものである。原画が現存するかどうかは分からない。

架蔵本の口絵は右下の方に少し破れがある。雑誌に綴じられたままの状態なので、口絵の上端は見えにくい。したがって、寸法については、口絵自体ではなく、口絵が印刷されている紙を測ったものであり、縦の長さは雑誌の背表紙から口絵が印刷されている紙の下端までを採寸している。また、綴じ目の付近は暗くなってしまうので、上手くスキャンできていない。口絵の裏面には、目で見られる範囲に限っては何も印刷されていないが、綴じ目の部分については見えないので確認できていない。

口絵のキャプションと目次の間に、作者と題名の表記の異同はないと思われるが、断言

はできない。なぜなら、口絵のキャプションは「鐵」と「郎」が判読困難であるからである。「鐵」はもしかしたら「鐵」である可能性も否定はできないが、詳細は不明である。

執筆者・発行者 植田智晴

二〇二二年九月二八日発行

© UEDA Tomoharu 2012

このPDFの無断での転載、複製などは禁止とさせていただきます。